

## フェリング社とコナリス社 消化器疾患領域における新しい遺伝子組み換え分子に関するライセンス契約を締結

本資料は、フェリング社が英語で発表しましたプレスリリースを抜粋し、日本語に翻訳および再編集したものです。この資料の内容および解釈につきましては原本である英文が優先します。本資料の原文につきましては、フェリング社のウェブサイト(<http://www.ferring.com/en/newsroom/pressreleases/>)に掲載されておりますオリジナルのプレスリリースをご参照ください。

2008年12月10日 スイス サンプレ市 / ドイツ キール市発

フェリング・ファーマシューティカルズ社とコナリス・リサーチ・インスティテュート社は、このたび FE301 の開発に関する独占的、世界的ライセンス契約を締結いたしました。FE301 は炎症性腸疾患や関節リウマチなどの炎症疾患における IL-6 経路に対する遺伝子組み換えタンパク質阻害剤です。

IL-6 は炎症の初期段階で作用することから、FE301 がクローン病や潰瘍性大腸炎の治療に際して、現在の生物学的治療薬に更なる選択肢を提供することが期待されています。今回の契約締結によりフェリング社はバイオテクノロジー研究と開発に新たな一歩を踏み出したといえます。

フェリング・ファーマシューティカルズ社のクリニカル&プロダクト・ディベロプメント部門エグゼクティブ・バイス・プレジデントのパスカル・ダングラス博士は次のように述べています。『消化器領域はフェリング社が注力している3つの治療領域のひとつであり、我々は FE301 が消化器領域において次世代の抗炎症薬になると考えています。我々は今回、本領域における著名な専門家であり、コナリス社のサイエンティフィック・ボードのトップでもあるシュライバー教授と協力させていただく機会を得たことを非常に光栄に思っております。』

消化器疾患専門家でありシュレーヴィツヒ・ホルスタイン州立大学病院のディレクターであるシュテファン・シュライバー教授は次のように述べています。『我々は炎症性腸疾患の治療領域におけるこの新しい生物学的療法に非常に大きな期待を持っています。このたび消化器疾患領域におけるリーディングカンパニーであるフェリング社と共同でこの重要な慢性炎症性疾患の患者さんに対する、新しく重要な治療方法を開発できる機会を確保できたことは非常に喜ばしいことです。』

コナリス社の CEO であるディルク・ゼーゲルト博士は次のように述べています。『我々は FE301 の前臨床および臨床試験が成功裏に終了すれば、現在市場に出ているすべての生物学的製剤に競争し得る、非常に大きな可能性があるかと確信しています。』

現在 FE301 は前臨床試験の段階にあり、2010 年度には第 I 相試験を開始する予定です。